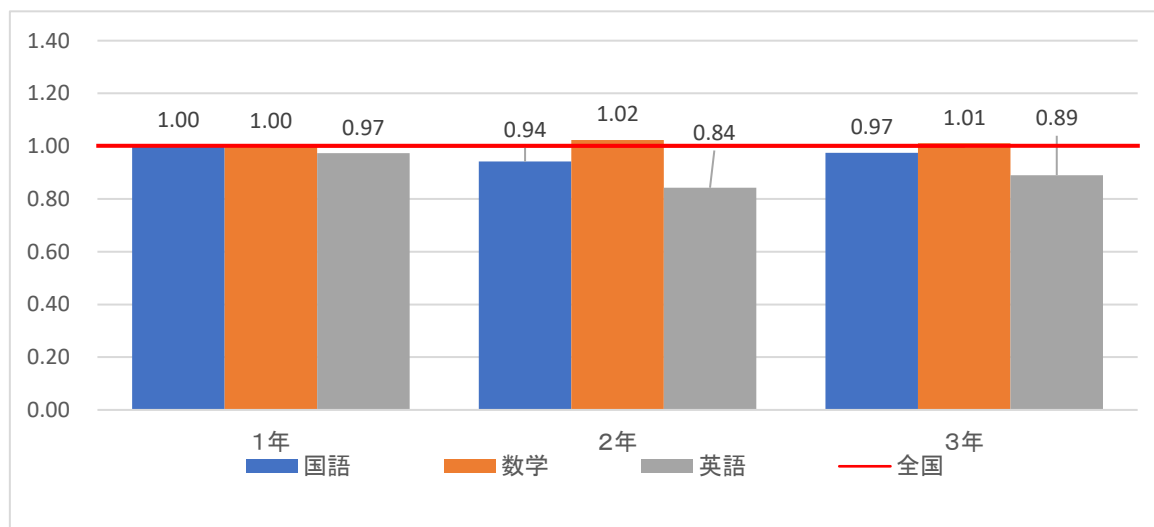


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について

第九中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1・2年生とも基礎内容に関しては目標値を上回っているが、1年生の「話すこと・聞くこと」領域、2年生「書くこと」領域に課題がある。授業においてスピーチや書く機会を増やし、丁寧な指導を心がけていく。
	数学	「数と計算」「関数」領域で定着が見られたが、「図形」領域にやや課題が見られる。文章や図から必要な情報を読み取る力をつけるため、ICT機器を活用した教材の提示など、授業を工夫していく。
	英語	「知識・技能」の観点の基礎内容に課題が見られる。言語活動を軸にしながら語形・語法及び語彙の知識・理解の定着を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「読むこと」領域で定着が見られた。スピーチや聞き取りテストにおいて「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の力を伸ばしていく。
	数学	どの領域もバランスよく理解の定着が見られたが、「知識・技能」の観点に課題が見られる。小テストなどの反復学習により、基礎基本の定着を図る。
	質問紙	「学校の授業時間以外で家庭学習に取り組む時間」の設問に「全くしない」と回答した生徒の割合が全国比2倍以上あった。引き続き、課題を工夫し、家庭学習の定着を図っていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

校区として聞く力・話す力を大切にしてディベート教育、教科教育に取り組むとともに、論理的・客観的・多角的思考を培い、「考える力」の育成に取り組んでいる。

ねやがわスタンダードを基に小中9年間で一貫した指導を校区教員で進め、児童・生徒の学習習慣の定着を図っている。また児童・生徒の主体性を伸ばすとともに、がんばっている姿・良いところを褒めて、自己肯定感を高めていくことを進めている。

【学校】

今年度も「授業に集中・授業で勝負」をスローガンに掲げ、日々の授業において主体的・対話的で深い学びの実現を進めている。

また、PBIS（九中ポジティブプロジェクト）を通し、自己肯定感を高め、認め合い支え合う集団を育成し、真剣に授業に取り組む校風の醸成をめざしている。